

ウクライナ支援報告

支援の概要

2月は一時的帰国し講演会を行うとともに、チャリティーCDを日本で発表し、教育支援のための資金作りを始めました。ウクライナで戦争が始まってから3年が経過しましたが、日本からの関心は高く、日本で再会したウクライナ避難民の友人たちからも異口同音に日本への感謝が聞かれました。



(写真) 宮島大使の離任・帰国後に日本で結成された「ウクライナに希望を! 有志の会」の初イベント「戦禍に咲く小さなひまわり達」が東京のパソナ・スクウェアにて実施。(写真) スームィ州の特別養護学校に車椅子対応車両の支援を実施(写真) 東欧支援協会から届いた越冬支援物資としてのホッカイロ。



帰国講演会

長野県内を中心に講演会「今、ウクライナの子ども達は」を行いました。20講演の詳細は以下の通りです。

- 2月10日 長野市芹田小学校
- 2月12日 山ノ内南小学校、山ノ内東小学校
木島平中学校、若者センター
- 2月13日 坂城町コミュニティーセンター
- 2月14日 坂城町村上小学校、千曲市屋代中学校
- 2月15日 横浜市野毛山教会
- 2月16日 東京・青山パソナ・スクウェア
- 2月17日 軽井沢西部小学校
- 2月18日 千曲市役所
- 2月19日 須坂市高甫小学校、ニュービジネス協議会
- 2月20日 上田市侍学園
- 2月21日 千曲市東小学校、須坂市東中学校
- 2月22日 千曲市更埴子ども劇場
- 2月24日 上田市中央公民館
- 2月25日 福井県敦賀市敦賀高校



今回の帰国講演では、今後の日本や世界を担っていく日本の子ども達に、ウクライナの子ども達の現状を知ってもらうことが主な目的でした。昨年、ポーランドのツェレスティヌフ郡と友好都市提携を結んだ長野県坂城町ではウクライナ支援の講演に加え、ポーランドと日本の歴史的なつながりについても扱いました。

全講演を通して2000人近い方に耳を傾けていただき、チャリティーCD「祈」や読む支援「ウクライナとともに（双葉社）」を通じた支援、その他多くの募金をいただきました。全ての関係者の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。







全国巡回絵画展

ウクライナの子ども達を支える会
(岩田悦子代表)を中心に全国で展開
していただいているウクライナの子ど
も達が描いた絵の展示会、2月16日から
は東京で、2月24日には上田で行われま
した。上田での展示会は記念すべき50
回目となりました。

表敬訪問

今回の帰国で長野県では坂城町、千
曲市、須坂市、そして福井県では敦賀
市にて表敬訪問の機会をいただきました。
各地でポーランドのツェレスティ
ヌフ郡から預かっていたお土産を手渡
すことができました。



リヴィウ州

2月には帰国前に実施していた支援の報告がウクライナ各地から届きました。リヴィウ州の子ども達には日本から預かっていた色鉛筆や折り紙、文房具の他ノートが届きました。下は幼稚園の年長組の子ども達にも、小学校入学前の準備にということでノートが配られました。



テルノーピリ州

テルノーピリ州の子ども達にはノートの他にも絵の具や布キャンバス、防寒具、ガスコンロなどが届けられました。2月の帰国時には、この子ども達から預かっていた手紙を、沖縄県伊江島の子ども達に届けるため日本に持って行きました。3月10日には軽井沢西部小学校の子ども達とのオンライン交流会も実施されました。



ポーランド

2月末、ポーランドに戻ってからすぐポーランドに避難しているウクライナの子ども達にノートをお届けしました。今後の計画として、さらにノートを3月のイースター前、6月の子どもの日などの機会に届けたいと考えています。

日本から持ち帰ったチャリティーCDも学校やウクライナ人教師の友人たちに届けることができました。



スームィ州

昨年末から準備を進めていたスームィ州の特別養護学校への車椅子対応車両支援。2月末についに実現しました。今回、ウクライナでは適切な車両を見つけられず、ドイツから手配されました。2月末にウクライナ入りし、3月の初めに引き渡し式が執り行われました。今回の支援には昨年、歌手の吉川晃司氏からいただいた支援金を主な原資として活用させていただきました。

今まで、車椅子の子ども達は避難や移動、通学に大きな支障がありました。頻繁に空襲を受けているスームィ州の子ども達にとって、移動手段の欠如は大きな問題でしたが、ようやく解決できました。



この春の支援計画



長野県軽井沢市にある軽井沢西部小学校6年松組の子ども達が参観日や街頭での募金活動を行い、計42万円を集めてくれました。その資金を原資とし、ウクライナの子ども達に5000冊のノート支援を実施中です。ノートのデザインも軽井沢からいただいたものです。2月、講演会で訪問した際に募金と共に、募金時に活用していた、ウクライナの子ども達に対するメッセージが描かれた旗を預かってきました。3月、その旗はウクライナのテルノーポリ州クレメネチ第一小学校の子ども達に届けられました。3月10日、軽井沢の子ども達とウクライナの子ども達がオンライン

でつながり、交流会を持つ機会がありました。お互い、英語で上手にやり取りができました。

この春にはさらに、昨年ポーランドを訪問なさった菅野さんと本間さんの協力をいただき、「咲ノート」も作成します。また、チャリティーCDの売り上げを原資に、「祈ノート」の準備も着々と進んでいます。

